

	各社の考え方																
<p>□ 算定を行う背景・目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地球温暖化が進行し、極端な異常気象による災害が頻発すれば、支払保険金の増加、それに伴う保険料の上昇、といった影響を及ぼしかねない。 ● こうした事態を回避し、保険を安定して提供するという、保険会社の社会的使命を果たすために、先ずは率先して、高い目標を掲げ、自らのCO2排出を削減し、そしてバリューチェーン全体での、環境負荷低減に取り組んでいる。 																
<p>□ 算定結果の活用方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● CSRレポートなどで算定結果を公開している他、社員の環境意識の向上に利用。 																
<p>□ 算定のメリット</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● バリューチェーン全体でのCO2排出量削減の取組みが可能。 																
<p>□ 社内の算定体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本社関係各部からデータ提供を受け、CSR部が算定。 <div data-bbox="873 893 1591 1339" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>サプライチェーン排出量の算定結果</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Scope 1</td> <td>13.7%</td> </tr> <tr> <td>Scope 2</td> <td>45.8%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ1</td> <td>18.1%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ4</td> <td>12.3%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ5</td> <td>2.7%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ6</td> <td>4.4%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ7</td> <td>3.1%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	Category	Percentage	Scope 1	13.7%	Scope 2	45.8%	カテゴリ1	18.1%	カテゴリ4	12.3%	カテゴリ5	2.7%	カテゴリ6	4.4%	カテゴリ7	3.1%
Category	Percentage																
Scope 1	13.7%																
Scope 2	45.8%																
カテゴリ1	18.1%																
カテゴリ4	12.3%																
カテゴリ5	2.7%																
カテゴリ6	4.4%																
カテゴリ7	3.1%																

サプライチェーン排出量の算定結果

各社の考え方

□ サプライチェーン
排出量の削減に
向けて

- 全拠点を適用範囲としてISO14001を取得し、各職場の取り組みの実施状況を点数化する「エコチェック」を実施。
- 取引業者に対して、環境方針や調達方針などを伝え、バリューチェーン全体で排出量の削減に取り組んでいる。

□ サプライチェーン
排出量算定の課
題

- スコープ3の排出量は選択する算定方法によって異なるため、他社との比較が難しい。

□ これからサプライ
チェーン排出量を
算定する方へ

- データの入手が比較的容易であるカテゴリの算定から始めることがよいのではないかと考えている。

カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	● 上下水道の利用量	● 地球温暖化対策報告書制度（東京都）提供値
	● OA用紙、印刷物の購入金額	● 3EID
カテゴリ4「輸送、配送（上流）」	● 郵便、宅配便・社内便の支払金額	● 3EID
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	● 自社ビルからの廃棄物排出量重量	● 原単位DB
	● その他の廃棄物処理金額	● 3EID
カテゴリ6「出張」	● 国内の営業移動・出張・赴任における支払金額・推定移動距離	● 原単位DB* （タクシー・ハイヤー・鉄道・バス・新幹線・航空機） ● 交通エネルギー要覧等により作成した原単位（船舶） ● 3EID（宿泊）
	● 海外の出張・赴任における航空機移動の出発地・到着地、宿泊日数	● ICAO（国際民間航空機関）（航空機） ● 原単位DB*（宿泊）
カテゴリ7「雇用者の通勤」	● 推定移動距離	● カーボンオフセットガイドライン提供値（鉄道、マイカー） ● 交通エコモ財団提供値（バス）